

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

泉尾北小	学校	児童数	22
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.60	20.20	23.50	40.20	41.30	9.93	131.90	19.30	46.90
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.75	21.08	39.08	43.25	47.33	9.38	141.08	12.25	57.83
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

【体力合計点において】

T得点(全国平均を50.0とした得点)は、男子…44.2 女子…54.3であった。

【質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において】

肯定的な回答(好き、やや好き)において、男子は90.0%(全国93.2% 大阪市93.4%) 女子は91.6%(全国86.2%、大阪市84.5%)と男女ともに高い数値となり、運動に対する興味・関心の高さがうかがえた。

【1週間の総運動時間において】

60分に満たない児童の割合が、男子は0%(全国9.2%、大阪市11.0%) 女子は25.0%(全国25.0%、大阪市19.9%)であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

【これまでの取組と成果】

・3学期にはこれまで行ってきたなわとび週間、ジョギング週間に加え、たてわり班で競い合う「大縄跳び集会」を実施した。1～6年生が協力し、楽しみながら体力向上を図ることのできる行事であった。ジョギング週間ではアップテンポな曲を流して児童のペースが刻みやすいようにした。加えて3学年ずつに分けて走らせたため運動場のスペースに余裕ができ、個人のペースで走ることができた。2月開催の「マラソン大会」を目標に、児童は意欲的に取り組んでいた。

・「みんなあそび」の時間を全学年で取り入れたため、休み時間に運動を行う児童の割合が増えた。また、たてわり班の活動や異学年交流の時間が昨年度より大幅に増えるなど、教職員全員に児童の体力向上を図る意識が高まってきている。

【今後取り組むべき課題】

・これまで本校の課題であったソフトボール投げ(巧緻性・投球能力)および反復横跳び(敏捷性)の改善がなされていることが今年度のデータで明らかとなったが、立ち幅跳び(筋パワー・跳躍能力)に関しては今一つ成果が出ていない。簡易な垂直とびテスターを校内に設置し、遊び感覚で児童が取り組めるようにする。